合同勉強会

『バリアフリー・ユニバーサルデザインの一歩先の展開
～社会的包摂に向けてのインクルーシブリサーチとは～』

主催団体　：一般社団法人日本リハビリテーション工学協会　関西支部
　　一般社団法人日本福祉のまちづくり学会関西支部

開催日時　：2018年12月1日(土)　14:00-16:15
開催場所　：谷岡学園梅田サテライトオフィス
　　(大阪府大阪市北区大深町4-20
　　グランフロント大阪タワーA(南館)16階)

講師: 森口弘美　（京都府立大学公共政策学部）
ナビゲーター：相良二朗(神戸芸術工科大学芸術工学部/RESJA関西支部)
指定発言：糟谷佐紀(神戸学院大学総合リハビリテーション学部/RESJA関西支部)
司会：北川博巳(日本福祉のまちづくり学会　関西支部)

参加者数：21人　（参加費無料）

図 1森口氏による講演

図2 勉強会風景

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会 関西支部と合同により、勉強会を開催しました。

インクルーシブリサーチは調査研究のプロセスに知的障害者が参加することをめざす考え方です。インクルーシブリサーチを実践している森口弘美さん(京都府立大学公共政策学部)により考え方や実践事例の報告をしていただき、ナビゲーターの相良二朗さん（神戸芸術工科大学芸術工学部）とともに、これまでのユニバーサルデザインやインクルーシブデザインなどと比較しながら、理解を深めるイベントでした。

また、指定発言として糟谷佐紀さん(神戸学院大学総合リハビリテーション学部）から、知的障害者を対象とした住まいに関する調査に際し、知的障害者に対するわかりやすいアンケートの設計や結果報告の提示などの話題提供がありました。

東京や広島など遠方からの参加者も有り、参加者の関心の高さがうかがえました。